

工房探訪

世界遺産・富岡製糸場の近郊は、ゴルフ場が多く点在する場所でもある。妙義山を北に仰ぐ街で、ゴルフクラブと化したすら向き合う若きクラフトマンのご紹介

イワイゴルフ



クラフトマン
岩井 誠氏
父の時代に、お客様が作ってくれたというロゴマークが輝く

【本店】 群馬県富岡市一ノ宮364-5
TEL.0274-64-3099 FAX.0274-64-3114
URL: <http://iwai-golf.golf-hp.com>
Mail: makochannel5963@gmail.com

【碓氷ファミリーゴルフクラブ店】
TEL.027-393-5454
■不定期・週3日ほど
18:00~20:30

■毎月第1、第3日曜日・不定休
10:30~19:00
■上信電鉄上州一ノ宮駅下車徒歩8分
■駐車場完備



明るい店内。よく整理されていて、入りやすい

クラフトマンという職業が持たれているイメージからすると、若い。37歳。岩井さんは、父親の幸三さんから工房を継いだのだから、若くても不思議ではない。が、練達の技が求められるこの世界では、時として若さは負の印象として受け取られてしまうこともある。事実、岩井さんもお店を継いだ当初はまだ20代。「お父さんのほうがいいなあ」と言われたことがある。

岩井さんのゴルフの物語は、小学3年生のころに始まる。朝8時に練習場に置いていかれ、持参したおにぎりをほおばりながら午後2時、3時まで2000球を打った。3時、3時、3時。部活もあつてゴルフからは離れたものの、高校生になるとがぜんゴルフにのめり込み、群馬県のジュニアの大会で8位、3位と1年で10ストローク縮める勢いだつた。大学に進学し、ゴルフ部に所属すると、当時は当たり前だったゴルフ場でアルバイトをした。岩井さんは「ゴルフが楽しくなつてしまつて、そのころに自分のゴルフのベースがありました」と言うとおり、キヤディを勤めた後、暗くなるまでラウンドした。生活がゴルフに軸足を移していた。ついに、成人式の翌日に大学をやめた。それでも、プロになろうとは思わなかった。研修生7、8人のうち、プロになれたのは女子が1人。その子も1年363日、朝6時から夜中の12時まで漬けになって勝ち取ったくらい。自分に

専門家がいても分かる美しいクラブを！
随所に息づく微細な仕上げ

て目でその技量が分かるような美しいクラブ作りを心がける。アイアンのロフトを立て



クラブマイスターのこだわりセッティング

1W	カムイTP-X 10.0度/トライファス・バシレウスβ60(S)/46.25インチ/312g/D2.7
3W	アクシスゴルフZ1 15度/ループプロタイプFW six(SX)/43インチ/335.3g/D2.0
7W	ロマロ・レイタイプ R 21度/フジクラ・スピダー-EVO4 757(S)/42インチ/345.8g/D3.0
5I PW	エボンゴルフAF-705 [5I] 23度/トゥルーテンパーAMTブラック(S200)/38.25インチ/399.8g/D2.5
SW	タイトリスト・ボーケイフォード46-08 46度/トゥルーテンパーAMTブラック(S200)/35.75インチ/444.4g/D2.5
SW	エボンゴルフ・ツアーウエッジタイプS 50度、58度/日本シャフトN.S.プロモダス ³ ウエッジ115、フジクラMCIソリッド125/35.25、34.75インチ/461g、467.1g/D2.5
PT	ロマロ・タンクフランカー

この工房で何ができるか？

- ✓グリップ交換
- ✓リシャフト
- ✓ロフト・ライ他クラブ調整全般
- ✓塗装直し
- ✓フィッティング

IWAI GOLF

てほしいというオーダーが入れば、オフセットが強くないよう、メッキにしが寄らないよう、根元側を少しずつ少し曲げる——といった細心の施術を行う。クラブヘッドの性能を正しく発揮させるためには、ホーゼルに対してシャフトをまっすぐ入れることは当たり前として、施工後のクラブを立てかけたり、寝かせたりしてしまえば接着剤の厚さの分シャフトは傾く。逆にシャフトを斜めに入れてほしいというオーダーでは、ホーゼルの中を削り、スパーサーというかませる部材をクリアランスの幅によって素材を変え、コンナミリメートルの世界で戦う。ホーゼルの内径はほとんど頭の中に入っており、こういった技法でどのスパーサーを使ったらいいかは、シャフトを抜く前に分かるという。

クラフトスペースの棚には、10数本のクラブがお客様のネームタグを付けてズラリと並ぶ。リベアの依頼が多いのは、信頼の証である。岩井さんは語る。「お客様は一発で結果が出るクラブを求めますが、それは無理があるので、何度でも調整を重ねて最高のクラブを作りましょうと言います」。微妙なタッチの話をお客様と話しているだけで楽しいという。

最後に将来の目標は？ という質問をぶつけてみた。「お客様とできるだけ長くおつきあいさせていただくことを大切に、特にお店を大きくしたいとかはないです」。

静かな語り口で、岩井さんは目を細めながら天井の片隅を見つめた。



棚にはリベアを待つクラブがずらりと並ぶ



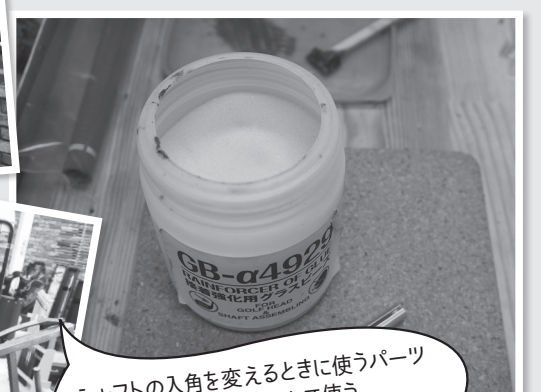
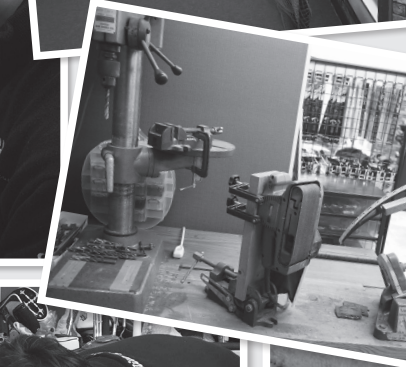
スカイトラックで計測。スイング特性が重要な情報となる



エボンやロマロ、カムイといったパターメーカーが主役



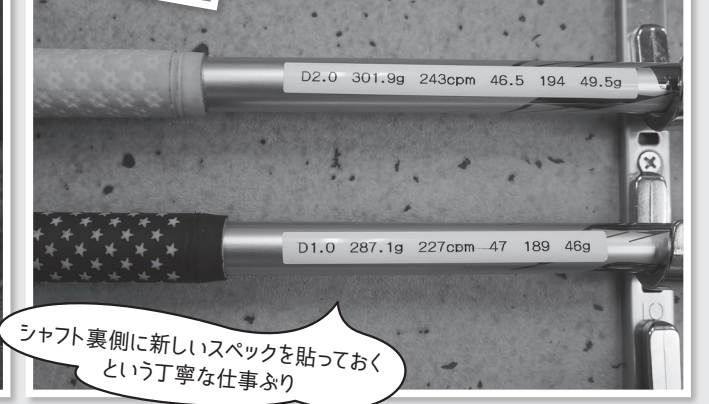
研磨機は一般的な工具をアレンジして使用



シャフトの入角を変えるときに使うパーツ。外側に谷折りにして使う。他に厚めのカーボンシートなどがある。他に厚めのカーボンシートなどがある。ボトルに入っているのはガラスの粉末



リシャフトなどで預かりしたクラブは、ピフォア、アフターのデータを記入してお客様に渡す



シャフト裏側に新しいスペックを貼っておくという丁寧な仕事ぶり